

平成 27 年度ナショナルバイオリソースプロジェクト 成果報告書（公開）

補助事業 代表機関管理者 (所属機関・氏名)	国立大学法人岡山大学 資源植物科学研究所 教授 佐藤 和広
補助事業課題名	オオムギリソースの収集・保存・提供

1. 補助事業の目的

第1期、第2期で整備したオオムギの系統種子、cDNA クローン、BAC クローン（フィルターおよび DNA を含む）のリソースを継続して保存・提供すると共に、寄託による系統リソースの収集、系統リソースについての付加情報の整備を行い、研究コミュニティに対して積極的にリソース関連情報を発信する。

2. 補助事業の概要

①リソースの収集（種子約 100 系統）、②リソースの保存（種子 17,400 系統、DNA クローン 380,000 程度、一部系統の栽培種子更新）、③リソースの提供（種子 2,100 系統、DNA クローン 20 クローン程度）、④リソースのバックアップ、⑤運営委員会の開催、⑥データベースの構築（デザイン更新、データ追加）、⑦事業の総合的推進

3. 補助事業の成果（平成 27 年度）

- （1）リソースの収集：寄託により 109 系統を導入した。
- （2）リソースの保存：オオムギ系統を 17,400 系統、DNA クローン 380,000 クローンを保存した。1,019 系統を栽培して種子を更新した。
- （3）リソースの提供：オオムギ 2,216 系統、DNA クローン 1 クローンを提供した。
- （4）リソースのバックアップ：3,094 のオオムギ系統を世界種子貯蔵庫に預託し、DNA クローンのバックアップ（cDNA 京都大学、BAC アリゾナ大学）を継続した。
- （5）運営委員会の開催：2 回開催し、事業結果の報告と計画、コミュニティとの調整などを行った。
- （6）データベースの構築：公開ページをデザインし、SNP データを追加する作業を進めた。
- （7）事業の総合的推進：オオムギおよびコムギの研究コミュニティの集まりであるムギ類研究会において、NBRP に関するセッションを企画した。その中で、1) 研究リソースの利用拡大および論文成果を増やすための議論、ならびに 2) ゲノム情報の整備と系統リソースの付加情報のニーズについての議論を行った。また、オオムギ NBRP の成果と活動を紹介する資料を作成して、ムギ類研究会で配布するとともに、ムギ類のメーリングリストでも紹介した。上記の内容は NBRP コムギ運営委員である課題管理者がコムギ運営委員会においても紹介して、コムギコミュニティにオオムギリソースの利用拡大を依頼した。